

## ◆ 今月のトピックス ◆

### (一社)石川県建設業協会理事会の開催 ～ 谷本知事に推薦状～

(一社)石川県建設業協会理事会は、9月26日(火)午前11時から金沢市のホテル金沢において開催された。

理事会の冒頭挨拶で吉光武志会長は、「本日の議題は何といっても来春の知事選挙への対応である。先般谷本知事が7選への出馬を表明された。知事はこれまでの6期24年間、本県の礎となる陸海空の交通基盤の整備や大規模な事業を数多く行い後世に残る仕事をしていただいた他、入札契約制度面においても労務単価や経費率の大幅アップに努めていただいた。これは我々建設業に対する深い理解のたまものである。このようなことから石川県の発展、県民の幸せ実現のためにも引き続き

県政のかじ取りをお願いしたいと考えている。」と述べた。引続き理事会では、初めに吉光会長から、来春に予定されている石川県知事選挙について、県協会と地区協会が一致結束して、現職の谷本知事を推薦することについて発言があり、これを諮ったところ、満場一致で承認した。

この後理事会席へ出席された谷本知事に対し吉光協会長は、「来春の知事選候補者として谷本知事を推薦することを全会一致で決定した。今後は県協会と9地区協会が一致協力し全力で応援してゆきたい。」と述べ、谷本知事に推薦状を手渡した。

これに対し谷本知事は「社会資本の整備は必要なときやらないとチャンスを逃がす。必要な交流基盤整備を進め石川県の発展を目指してゆく、皆さんの推薦を励みに頑張りたい。」と決意を述べられた。

その後全員がロビーに出て橋本和雄金沢建設業協会長の音頭で谷本知事を囲み全員で「がんばろう三唱」を行い氣勢をあげた。

引き続き理事会を再開し、「自由民主党党员獲得について」五天事務局長が経緯を説明し、理事・監事にそれぞれ2名の党员の登録をお願いし、これを諮ったところ理事・監事の全員が承認した。

続いて辻専務理事より、「県発注工事における社会保険加入対策の拡充」について説明があり、その後「働き方改革について」と題し、石川労働局米村佑規監督課長の講演が行われ、長時間労働の是正に向けた政府方針、監督機関の取り組み、長時間労働の是正をめぐる最近の動向等について説明を受け理事会を終了した。



がんばろう三唱



推薦状伝達



米村監督課長講演

# 最近の完成工事から

## 主要地方道 小松山中線 勅使大橋の開通 ～南加賀地域の振興と活性化に向けて～

石川県南加賀土木総合事務所

### 1 はじめに

主要地方道小松山中線は、小松市中心部から粟津温泉、山代温泉を通り山中温泉へ至る観光道路であるとともに、沿線地域にとっても大変重要な生活道路です。

このうち、二級河川動橋川に架かる「勅使大橋」は、老朽化が進み、前後の区間に比べて幅員が狭く、大型車同士のすれ違いに支障をきたしていました。こうしたことから、県では、平成24年度より橋梁の架け替え工事に着手し、順次工事を進めてきた結果、平成29年8月に開通することができました。



図 - 1 位置図

### 2 事業概要

路線名：主要地方道 小松山中線

事業箇所：加賀市勅使町～森町地内

事業延長：L=220m

事業期間：平成24年度～平成29年度

橋長：51.0m

幅員：6.0(12.5)m

橋種：2径間連結

PCプレテンション床版橋

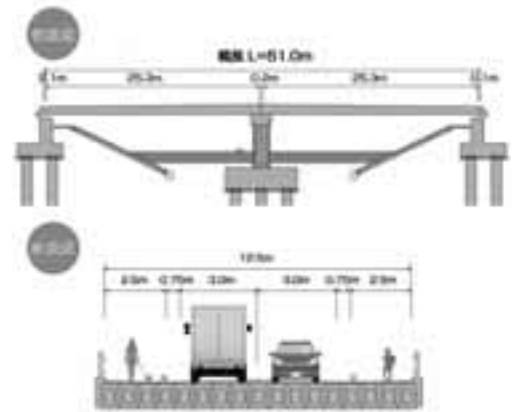


図 - 2 側面図・断面図

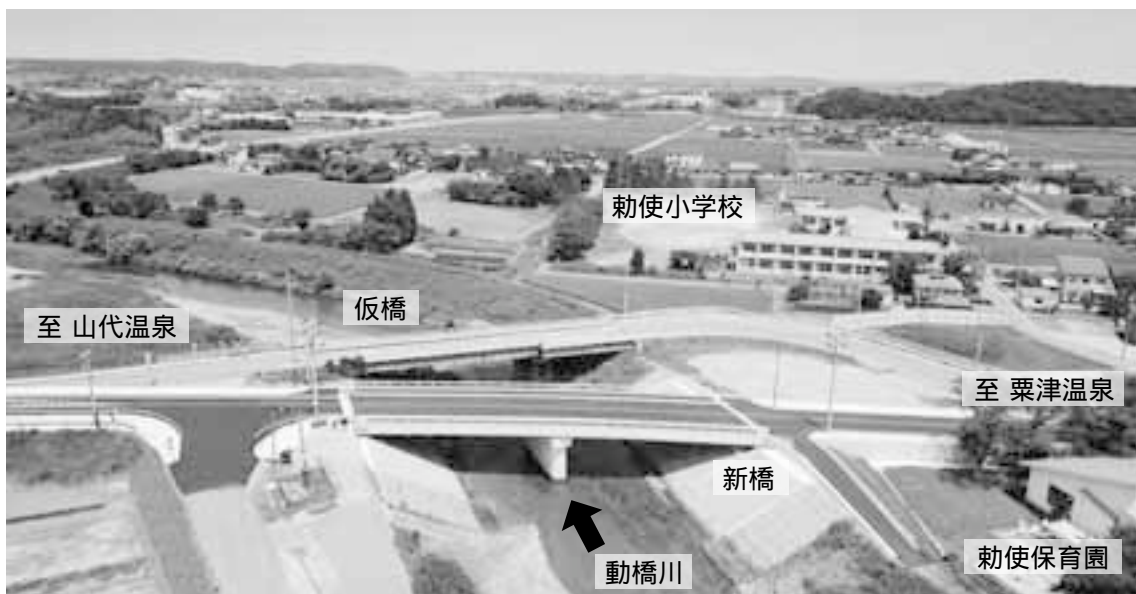


写真 - 1 勅使大橋の完成写真

### 3 事業の効果

勅使大橋の完成により、大型車両のすれ違いに十分な幅員が確保され、加賀温泉郷や宇谷野工業団地へのアクセスが向上し、南加賀地域の観光振興や産業の発展に大いに寄与するものと考えています。

さらには、今回、両側に歩道を整備したことにより、周辺住民や勅使小学校の児童など、歩行者の方々が、これまで以上に安心して通行することが可能となりました。

### 4 事業の特徴

事業を進めるにあたっては、公共事業への理解や道路への愛着を深めてもらうことを目的とし、勅使小学校5年生を対象に現場見学会を開催するとともに、勅使大橋の橋名板の揮毫をしていただきました。現在、橋名板は、それぞれ橋の親柱に取り付けられています。

また、勅使大橋周辺には、古墳や遺跡などの歴史的遺産があり、自然豊かな里山にも恵まれていることから、景観に配慮した地域に愛される橋を目指し、高欄には、周辺の景観になじみやすく、落ち着いた印象のオフホワイト色を使用しています。

### 5 おわりに

平成29年8月20日(日)には、地域の方々をはじめ、知事や国会議員、県議会議員、加賀市長など多くの関係者の方々にご出席いただき、開通式を行いました。当日は、天気にも恵まれ、地元の保育園児による元気な踊りや歌声が会場を盛り上げ、テープカットやくす玉開披、渡り初めを行い、盛大に開通を祝いました。

今後は、迂回路として利用していた仮橋を撤去した後、残る改良工事を進めることとしております。

最後になりますが、本道路の整備に多大なるご尽力をいただいた関係各位にこの場をお借りして感謝申し上げます。

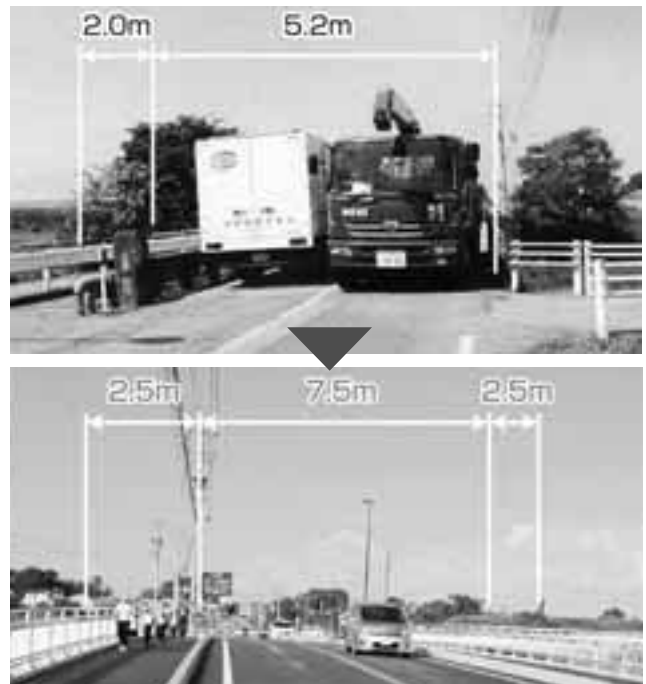


写真 - 2 整備効果



写真 - 3 PC板に乗って強度を体験



写真 - 4 勅使大橋における親柱と高欄



写真 - 5 開通式の様子

# 平成28年度 農林水産部優良建設工事 知事表彰の紹介

vol.9

施工企業名：北川建設株式会社

工 事 名 平成26年度 林業活性化林業専用道  
(規格相当) 整備事業  
天池・榎見線 開設工事

施 工 場 所 金沢市榎見町地内ほか

工 事 概 要 林業専用道開設  
W=3.5m L=971m

工 期 平成27年9月16日  
~ 平成28年3月28日

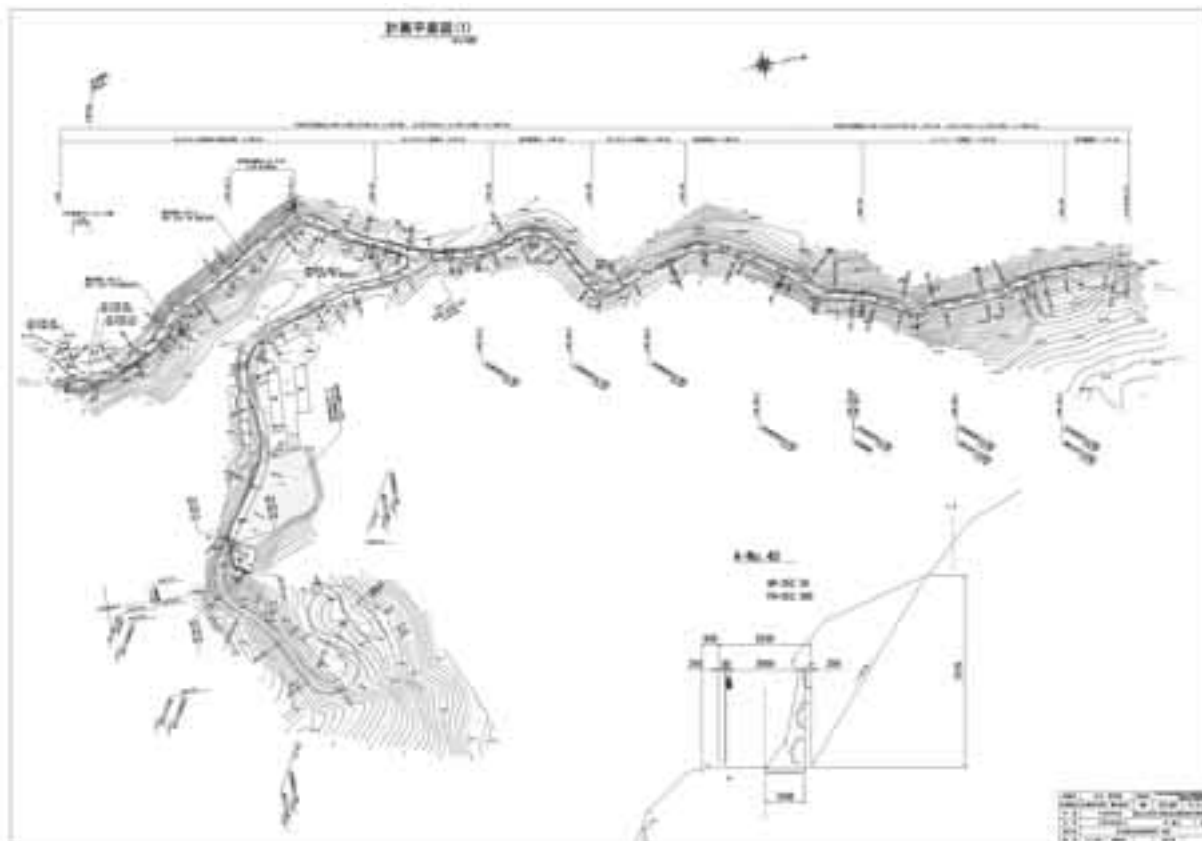


完成写真

### 推 薦 理 由

#### 山間部の厳しい環境条件下の林道開設工事

積雪や生息する猛禽類の配慮のため作業期間が限られる中、急峻な地形や軟弱な地質に対応し工夫がなされた。



計画平面図



試験盛土



含水比試験（レンジ法）



後方バックモニター画面



除雪状況



冬季の施工状況



資材置き場

現場代理人のコメント



現場代理人  
高橋潤一氏

この度は、栄えある知事表彰を頂き、大変感謝しております。  
当工事は、標高350mに位置し、猛禽類保護のため秋季から冬季にかけて工期設定された工事でした。  
施工に際しては、気象・現場状況を勘案した安全・品質・工程などの課題対応が不可欠でありました。安全対策は、最小幅員（3.0m）での条件から後方小旋回＋バックモニター付きバックホウを採用し接触事故防止を図りました。  
また、品質対策は、盛土の締固め度確保のため、試験盛土を行い工法規定し施工しました。さらに、その確認は、含水比試験（レンジ法）を現場事務所でを行い結果を確認しながら品質確保に努めました。  
大雪に数回みまわれ、工期延長も覚悟しましたが、除雪を行い現場に事前ストックした資材で着実に施工をすることで期限内に無事工事を終えることができました。  
最後になりましたが、ご指導いただきました発注者の方々、工事にご協力頂きました地元住民・地権者の方々、協力業者の方々に厚く御礼申し上げます。

## 雇用改善コーナー

## 工業系大学生（金沢工業大学）の現場見学感想文

輪島道路 ICT 土工現場を見学して感じたこと

金沢工業大学 環境・建築学部 環境土木工学科 片山太貴

今回、空間情報工学を利用した工事現場の見学に行った。見学した工事は ICT (Information and Communication Technology) を用いた能越自動車道の土工であった。

今回の能越自動車道での土工工事で ICT 施工が用いられた理由は、現在の日本での人口減少が原因である。日本は現在少子高齢社会となり、総人口、生産年齢人口の減少、高齢化率の増加が予想されている。これにより、日本の長期高齢化社会へ突入し、生産性が上がらない人の増加、労働者の減少がおこり GDP が下がり国の借金が増えるという負のスパイラルに陥ると予想されている。この負のスパイラルは建設業界にも広がるのが予想されるため、この状況を打破するため空間情報工学を活用した ICT 施工が行われている。

ICT を用いた情報化施工は 8 年ほど前から行われており、徐々に実績が積み重ねられている。ICT 施工を行うことの利点は、建設現場、特に土工などで扱うのに高度な技術と経験が必要とされているブルドーザーやバックホウなどの重機の操作が自動制御やガイダンスシステムによって技術、経験の浅い人間でも十分に行え、一定の成果を維持しながら工事が行えるという点である。また、転圧機に締固め回数を記録するシステムや位置情報を与えることで転圧不足の防止を行うなど品質管理の質の向上も行い、工事現場の作業効率の向上が行われている。

また、ドローンを用いた写真測量も行われるようになり、短時間で高密度な三次元測量が実施できるようになっている。

空間情報を活用した ICT 施工などは 8 年ほど前から実施されている。しかし、完全に写真測量を含め ICT 施工が普及している時代にはなっていない。これは、まだ社会での ICT 施工が試験段階にあるためである。実際に、現在行われている ICT 施工は国などの発注者が ICT 施工を前提とした工事の発注を行い試験的な ICT 施工を行っている現場が多い。そのため今後さらに実績を積むことで ICT 施工が普及していけると考えた。

今回の ICT 土工を見学した時期は授業で GNSS 測量など学んだばかりなので現場の ICT 施工の仕組みなどが理解しやすかった。見学のなかで特に印象に残ったのは、少子高齢、人口減少と建設業界背景の関係性から日本の建設業界が置かれている状態に対する考えである。建設業界は経済に影響され、労働力の過剰時代から労働力不足の時代へ変化してきた。また、人口と同様に建設業界の労働者の入職が低下しているのに対し、離職者が増加して労働者の需要供給が一致せず建設業界の労働力問題が深刻化するという点である。現場を見学し、現在は人間の仕事が機械に奪われることが今後の脅威とされているが建設業界では ICT 施工の導入が急がれており、ICT 施工を行う方が作業効率が良いと感じた。しかし、ICT 施工は今後さらに発達し完全自動の施工が行われるようになった場合、現職の作業員はかなり離職、分野の転職が必要になるとも感じた。そのため、今回の見学では今後建設業界の労働力問題は他産業と同様に機械と人間の労働バランスが問題と考えた。

情報化施工はこれからの建設事業で大切な分野でしっかり勉強したいと思った。

金沢工業大学 環境・建築学部 環境土木工学科 大橋将太

今回の現場見学では情報化施工についての見学を行うことができた。

砺波から輪島までの道を建設していた。その建設で情報化施工を行っていた。情報化施工とは GNSS などを用いて設計図通りに効率よく行うために生まれたものである。以前は重機の操作を作業員が行っていた勤が頼りになることがあったが情報化施工を行うことで掘削作業や締固め作業を音とモニターで見るこ





とができ効率よくなっていたと思った。

最初にラジコンヘリやドローンを見学して2km ぐらいの通信もできるかといっていてすごいと思った。重機やロードローラー、マシンガンブルドーザーを見学した。実際に重機を注目してみることはないのではとても良い経験ができたと思う。また、操縦では実際にバックホウのバケットを動かすことを体験させてもらった。モニターにはバケットの高さや現在の掘削深さ、設計図面までの掘削深さをモニターと音で知ることができていたので一目でわかると思ったので素晴らしいと思った。バックホウにGNSSの機会が設置されているがそれだけでは誤差も大きくなるので後ろに基地などを設けて高くしていた。



次にマシンガンブルドーザーを見学させていただいた。マシンガンブルドーザーは走行は手動で、掘削深さと傾きが自動であった。設定した高さ以上は操作しても下がらなくロックされていた。傾きは傾いてもすぐに戻っていて効率がとてもよくなり、現場作業員の操作も楽になると思った。また、GNSSのセンサーは1000万円もするといわれたのでとても投資していてもその分効率化や軽減化で見返りが返ってくると思うとても大切なことだと思った。

ロードローラーでは操作はすることができなかったが運転席を見学させていただいた。

ロードローラーのモニタには締固め回数が色別に表示されていて一目でわかりまた効率よく締固めを行っていた。モニタがなければ同じところを踏んでしまうことがあり効率化は測れないだろうと改めて認識した。締固めは30cm ごとに4回以上締固めを行ってそれを10m 行うと言っておられ、ほど遠い作業でもとてびっくりした。以上のことを見学させていただいた。情報化施工はこれからの建設事業を行う上でとても大切だと思ったのでこれからもしっかりと勉強していきたいと思った。とても貴重な体験ができたと思った。

来年から土木業界に関わる身として未来が明るいと感じました。

金沢工業大学 環境・建築学部 環境土木工学科 小川祐紀

現場見学会という貴重な経験の場を設けてくださった、石川県建設業協会、宮地組、国土交通省北陸地方整備局の皆様には感謝を申し上げます。

情報化施工は今後の土木業界に大きな影響を与えるものであるなと感じました。今回見学させていただいた宮地組さんのような地方のゼネコンでも、ICT 技術を利用した建設機械を使用することによって、少ない人員でも大きな事業に取り組めることが出来るし、設計図通りに施工することが出来るのでより良い構造物を作ることが出来るのであると感じました。また、全国的に土木作業員も減っている状況の中で若手作業員でもベテランオペレーターのような仕上がりを得ることが出来る情報化施工は、今後も拡大していく事業の一つであると身にしみて感じました。

その中でも特に気になった技術の一つとしては転圧機の盛土の締固め回数管理システムです。締固めた場所を色付けしていくことにより、転圧不足解消だったり、また現場密度試験を省略出来たり、締固めすぎることが無かったりと、非常に画期的であるなと感じました。今まではベテランオペレーターの方の技術で補っていたと思うので、この技術があれば、若手の方でも楽にこなすことが出来ると思いますし、誰でもレベルの高いパフォーマンスを発揮できると思いました。

また、私はUAVを扱う研究室に所属しており、現場見学会で拝見させていただいたUAVの操作のレベルの高さに感動しました。情報化施工において、三次元モデルはなくてはならないものであり、その際の写真測量が非常に重要と思うので、あのようなレベルの高い操作ができるとよい写真測量になるのだなと思いました。

私は来年から土木業界に関わる身として未来が明るいと感じました。私も来年から利用させていただく身になり、確実に強度の高い構造物づくりに貢献できるようにしていきたいと思っております。

繰り返しになりますが、現場見学会という非常に貴重な機会を設けてくださった石川県建設業協会をはじめ多くの方々に感謝申し上げます。ありがとうございました。

これからも現場見学に積極的に参加し知識を深め自分の将来を考える機会にしたいです。

金沢工業大学 環境・建築学部 環境土木工学科 川崎 舞

今回初めて参加してみて、感じる事が多くありました。まず、現場見学とは解説をしてもらいながら、

実際の現場を見学する事だと考えていました。しかし、スライドと資料を用意して下さり、知識のない私でも少しだけ理解する事が出来ました。そして現場での説明の際には、ドローンやGNSSを使用した重機の説明や、実際に運転席に座って動かし方を教えてもらいました。そのため実際の現場でGNSSがどのように役立っているのかを貴重な体験を通して理解する事ができました。

私はまだ現場では女性は男性に受け入れてもらえないイメージでしたが、作業員の方から「これから頑張るね」、「女性が働きやすい環境づくりをしていってね」など、温かい言葉をかけてもらえてとても嬉しかったです。これからも現場見学に積極的に参加して、授業で学んだ知識を深めたり、自分の将来について考えたり、せっかくの機会を無駄にしないようにしていきたいです。



充実した一日でした。立派な女性土木技術者になれるよう頑張ります。

金沢工業大学 環境・建築学部 環境土木工学科 太田晴菜

輪島道路は10キロ以上あり、工期は約1年でとても短いと思いました。輪島道路が開通することで、輪島へのアクセスがよくなり、観光業の活性化だけでなく、災害時において信頼性の高いあるネットワークの形成に繋がる事が分かりました。

私の学校の研究室は、ドローン、GIS、GPS、リモートセンシング、三次元モデルなどが多くあり、私にとって、どれもあまりイメージがつかないことばかりでした。そんななか、このような技術の発展の背景には日本の人口の高齢化や財政に深く関係がある事が分かりました。ドローンはさまざまなタイプのものがあり、おもちゃを改造したドローンがありました。そのドローンはリモコンを使い操作を行うので、簡単に使えそうな感じがしました。もうひとつのドローンは、動画をとることができる優れものでした。ドローンは非常に安定性があり、動画の画質は思っていたより、素晴らしく綺麗でした。またドローンは、漠然とヘリコプターの小さい版のようにイメージしていたので、静かに動いていたので、驚きました。

バックホウ、ブルドーザー、転圧機に試乗させていただいて良い経験になりました。特に印象的だったのは、転圧機の、盛り土の締固め回数の施工状況を搭載パソコンに表示されていることでした。色別に回数を表示しているので、これからどこを転圧すればよいのか専門の知識がなくても分かります。転圧機にある無線機、GNSS受信機、GNSS受信機アンテナがなければ、データを得ることはできません。

ほかにもたくさん話をさせていただき、体験をして、充実した一日になりました。これから立派な女性土木技術者になれるように頑張っていきたいと思いました。

ありがとうございました。

総合資格学院は石川県建設業協会と企業提携している  
建設系資格スクールです。

会員の皆さまは、当学院の対象講座を**特別価格**で受講することができます！

平成29年度

1級・2級**建築施工管理講座**  
1級・2級**土木施工管理講座** **開講!**

→ 受講料・開講日やご質問など下記「金沢校」までお問い合わせください！

願書

取り寄せサービス実施中

- ・2級建築施工管理技士
- ・1級土木施工管理技士
- ・2級土木施工管理技士

日本で最も多くの1級建築士を輩出し続けている学校です。

\*平成24～28年度(過去5年累計)1級建築士設計製図試験 合格者合計19,562名中、当学院受講生10,636名、全国合格者占有率54.4%。平成28年度1級建築士設計製図試験 全国合格者3,673名中、当学院現役受講生1,957名、全国合格者占有率53.3%。



総合資格学院

学院長  
岸 隆司



金沢校

TEL.076-237-6811

金沢市鞍月5-181 AUBEビル 2F

スクールサイト

[www.shikaku.co.jp](http://www.shikaku.co.jp)

総合資格

検索

コーポレートサイト

[www.sogoshikaku.co.jp](http://www.sogoshikaku.co.jp)

Facebook [総合資格 fb]で検索!



## 地区協会コーナー

### 輪島市門前町 峨山道

(一社)鳳輪建設業協会

「峨山道」は、「峨山往来」とも称し、總持寺二祖<sup>がさん</sup>峨山韶<sup>じょうせき</sup>禪師が、輪島市門前町の總持寺と羽咋市酒井町にある永光寺の住職を兼ねていた暦応三年(1340年)から二十余年間、往来した兩寺を結ぶ十三里(約52キロ)の山道で、禪師は毎朝未明に永光寺の朝課を勤め、十三里の険阻な道を越えて、總持寺の朝の読經に間に合わせたと伝えられる。總持寺では、朝粥を終え、禪師の到着を待ちつつゆっくり読經する「粥<sup>しゃくりょうふざん</sup>了<sup>だいしんどう</sup>讀經の大真讀」のならわしが、禪師の没後六百五十年余の今も行われている。



禪師の往来したコースは諸説あり定かではないが、今日、「峨山道」あるいは「峨山往来」と名の残地点が点在している。總持寺が末寺一万七千を有し、曹洞宗大本山となる礎を築いたのは、この超人的な伝説に象徴される禪師の遺徳を偲び、その足跡を踏む「峨山越え」が伝えられていたが、近年途絶えていた。

この古道を再び踏み固め、或いは先人の建てた道標を探るなどの「峨山道巡行」を試みる人たちが増え、昭和六十一年、門前町内南山から日本名水百選の一つに選ばれた高尾山「古和秀水<sup>こわしゅうど</sup>」に至る道を修復しその始まりとなりました。現在は、年に一度、羽咋市「永光寺」から輪島市門前町「總持寺祖院」までを歩くイベント「峨山道巡行」や、峨山道を走るイベント「峨山道トレイルラン」が行われています。

總持寺と永光寺を結ぶ中世の里山古道を皆さんも歩いてみてはいかがでしょうか。



峨山道巡行 2017年10月14日～15日

永光寺～總持寺祖院

## 会員リレーコーナー

167 株式会社 城北建設  
(所在地：金沢市しじま台2丁目6-2)

人と自然の未来を創造する



我社の前身は父による寺西組が発端になります。当時は他社の協力会社として事業を展開しておりました。昭和46年に法人として、「株式会社 城北建設」と社名を変更しました。所在地は金沢の南部地区に位置してはいたので、「北」の文字を使用することに多少の抵抗はあったのですが、既に「城南」という社名の建設会社が存在していたことと、当時お世話になっていた建設会社の一文字であることもあり、使わせて頂いたと聞いております。法人となり官公庁の指名入札にも参加出来るようになり、次いで昭和48年に新たに現在のしじま台に移転しました。当時は金沢市は下水道工事の推進時期でもあり、その頃より下水道工事を主体に事業を展開していきました。受注の多い年度は4～5件の元請契約を締結した年もありました。

そして残念なことに、平成6年に63歳にて父が他界いたしました。私には無口で決して褒めることはなく、毅然とした態度で最後まで父親ではなく師匠であり続けた姿にただただ敬服します。当時私は40歳とまだまだ未熟者であったため、不安とプレッシャーで押しつぶされそうな毎日でしたが、そっと背中を押してくれていたような気がします。

現在私も63歳になり、やっと父の年齢に追いつ



社屋

くことが出来ましたが、思い起こすにまだまだ追いついたとは言えないのが現状です。ただ23年の紆余曲折した経営の経験を生かし、何とか後継者の育成に力を注ぎたいと思っています。

さて、昨今当業界にはかつてない厳しい時代に突入してまいりました。当業界に限らず他企業全般にも言えることではないかと思いますが、人材不足が年々加速しています。熟練作業員は次々と現役を引退し、若年層からは避けられ、女性の参入は現場では期待は薄く、このままでは災害時における迅速な対応にも支障を来すことが懸念されます。そして更に追い打ちを駆けるかの如く、温暖化による気象変動や熱中症対策にも予断を許されない状態にあります。この先10年、20年を思うに、不安が募るばかりです。これらの課題に対して個々の社内での工夫も大切ですが、業界全体として、より一層の取り組みの強化を期待するものです。微力ながら皆様方と力を合わせて、頑張らせて頂きたいと思っています。今後ともよろしくお願い致します。

今回は鈴木建設(株) 代表取締役 鈴木宗幸さんにバトンをお渡ししますので、よろしく願いいたします。

(株式会社 城北建設 代表取締役 寺西茂正)

今月の「輝き！」さん  
No. 31



株式会社 本田工務店 高 英樹さん

業 種：建築主任  
経験年数：17年  
年 齢：37歳

(株)本田工務店は、金沢市八日市出町に本拠を置く建築を担う建設会社です。本日は会社事務所に今月の輝きさんの高 英樹さんを訪ねました。

- あなたの経歴と現在の立場と担当している仕事について紹介ください。  
私は羽咋郡志賀町赤住で長男として生まれ、地元の高校を卒業しました。  
卒業後は建築関係に就業するため、金沢科学技術専門学校で2年間建築を学び、同校を卒業の20歳の春、現在の会社に入社し今年で17年が経ちました。  
入社してからは、現場管理の手伝い、施工図面の作成などに携わり、働きながら2級建築士、1級建築施工管理技士の資格を取り、現在は建築主任として現場を任される現場代理人の仕事をしています。

- 建築を職業とした動機、また建築に携わる喜びがあったら教えてください。  
製図やモノづくりが好きだったことからこの仕事を選びました。喜びといえば、何も無いところにイメージしたものを造り上げた時の達成感でしょうか

- 建築技師としてこれまでどのような仕事に携わりましたか、印象に残った現場があれば教えてください。  
大手ゼネコンの応援で小松駅前の流線型の屋根が特徴の公共施設「サイエンスヒルズこまつ」の建設、金沢市無量寺町にある大規模店舗「アビタタウン金沢ベ

イ」の建設を経験しました。一日200人規模の人員がかかわる大規模な工事でした。

- あなたの会社について紹介ください。  
従業員は13名規模の建築一式を請け負う建設会社です。社長本田正敏は二代目で県建設業協会の役員も務めておられます。温厚で真面目な方で、現場にも足しげく顔を出し気遣いを頂いています。なお、私の所属する建築部は9名で私の先輩は5名後輩は3名で私は中堅といったところです。

- 建築に携わり17年、建築現場ではどのような変化が起きていますか？  
入社当時は、公共工事が多くありましたが、今は商業施設等の民間需要に軸が転換しました。また、新素材の出現や、機械加工技術の発達等で、材料の加工も大工さんによる現場加工から工場加工へと変わり、現場では組立工が大工さんにとって変わる時代となりました。

- あなたの仕事に対する信条、そして将来に向けた夢を教えてください。  
信条は安全第一です。そして仕事は前倒し前倒しで進め余裕を持つことにより安全にも目を向け、先手の対策を打てるように努力しています。  
仕事の夢は会社の実力や実績につながる仕事に携わりたいです。そのため仕事の受注機会も広がる1級建築士の資格取得も念頭にあります。

- あなたのご家族、趣味や、夢を聞かせてください。  
22歳の時結婚し中学生の長女、小学生の次女、4歳になる長男の3人の子供がいます。私にとって家族は癒しであり、元気の源といった存在です。  
趣味は、日曜大工です。趣味と実益を兼ね、実家でのパーベキュー設備を作ったりして楽しんでいます。  
私的な夢は私の線引きによるマイホームの建設です。その実現のため休日等は設計のアイデアを仕入れに展示ハウスの見学に出かけたりします。

『好きこそものの上手なり』この一言ですべてが開花し、実が結ばれていくような夢多き建築技師へのインタビューでした。



けんせつ一番星

「-Sunset Express-MOVE」毎月第4火曜日 18:00~18:05

エフエム石川で毎回、建設業界で働く業界のホープ「けんせつ一番星」の方にインタビューし建設業界の魅力や仕事への意気込みなどに迫ります。

是非お聞きください。

# 協会だより

## (一社)石川県建設業協会 第39回 懇親ゴルフ大会の開催

平成29年度(一社)石川県建設業協会第39回ゴルフ大会は、9月25日(月)加賀市新保町片山津ゴルフ倶楽部加賀コースにおいて開催された。

当日は、県内各地域から85名のプレイヤーが参加し、晴天のすがすがしい秋空のもと白熱のプレイを展開した。

プレイ終了後はクラブハウス内で、吉光武志協会長の挨拶及び乾杯の音頭で懇親会が開催され、引き続き成績発表・表彰伝達が執り行われた。懇親の参加者は、和気藹々のうちに相互の親睦を深めその後、鶴山庄市協会副会長の締めの挨拶で閉会となった。

なお、大会成績については次の通り。



大会スタートの協会役員

### 大会成績

			グロス	ハンデ	ネット
一般の部	優勝	三宅慎太郎(竹松組)	82	10.8	71.2
	2位	山本重雄(東南建設)	80	8.4	71.6
	3位	坂井繁(盛進工業)	80	8.4	71.6
シニアの部	優勝	北川浩(石川建設)	99	26.4	72.6
	2位	明畷章宏(明畷組)	99	25.2	73.8
	3位	上野吉夫(上野組)	90	14.4	75.6
ベストグロス賞	1位	西島義浩(西島組)	78		
	2位	山本重雄(東南建設)	80		
	3位	坂井繁(盛進工業)	80		

ドラゴン賞	北川 隆明
	坂井 繁(2)
	西島 義浩
	谷端 正宗(2)
	辻 和宏
	清水廉太郎

ニアピン賞	西島 義浩
	野崎 健二
	辻村 文雄
	小中出佳津良
	白米 直道
	山崎 貴文
	谷口永一郎



吉光武志会長の開会挨拶



一般の部優勝挨拶の三宅慎太郎氏(竹松組)



鶴山庄市副会長の閉会挨拶

## 北陸建設業協会会長会議の開催

本年10月17日(火)富山県で開催される北陸建設業協会地域懇談会の運営並びに提案議題等の打ち合わせを目的とした、富山、石川協会二県の協会長会議が9月26日(火)午後3時15分よりANAクラウンプラザホテル富山において、二県の協会長など、24名参加のもとに開催された。

会議は、冒頭富山県協会竹内 茂会長の挨拶で始まり、議長に竹内会長を選出し、下記のとおり議題審議がなされた。

- ・平成29年度地域懇談会の運営等について

地域懇談会開催要領及び地域懇談会における国土交通省提案議題、及び全建提案議題について開催県である富山県協会牧田 潔専務理事より説明がなされ、その後、北陸からの提案議題については、富山協会牧田専務理事及び石川協会辻専務理事からそれぞれ説明し、諮ったところ、北陸の提案議題を一部修正することで承認された。

引き続き、新潟県協会の北陸地域懇談会への参加に向けた働きかけや、人材育成・確保など、各県業界の諸課題などについて、活発な意見交換がなされ、大変実のある会議となった。



## 委員会の開催

### 土木委員会

#### 安全対策部会正副部会長会議の開催

土木委員会安全対策部会(部会長 林 登良夫)は、去る9月22日(金)に石川県建設総合センター会議室において、安全対策部会の正副部会長会議を開催した。今回の部会は11月に実施する「平成29年度工事点検パトロール」の実施に向けての対応すべき事項について、以下のとおり審議が行われた。



平成29年度工事点検パトロールの実施日及び対象工事について

- ・実施日を11月9日(木)、予備日を11月10日(金)に行うことで「工事点検パトロール班長会議(前期)」に提示し、各班長から石川県各土木総合事務所と日程調整及び対象工事選定を行ってもらったこととした。

班長推薦について

- ・5班(南加賀班、白山石川班、県央班、中能登班、奥能登班)の班長を10名推薦(各班2名)した。

工事点検パトロールの各班構成員選出について

- ・班長会議(前期)で、各班構成員を選出することとした。

平成29年度工事点検パトロール実施要領について

- ・記載内容を了承した。

今後のスケジュール

- ・工事点検パトロール実施に向けて、対応すべき事項の工程内容を確認した。

班長会議(後期)の開催日程について

- ・12月上旬～中旬に行うことを確認した。



## 現場見学会・研修会の開催

平成29年9月28日(木)から29日(金)、土木委員会は会員の技術力向上の一環として現場見学会・研修会を開催するもので、今回は世界的に有名な北アルプス立山を貫く山岳ルートで運行されている自然環境と景観保護、クリーンエネルギーに配慮された山岳交通機関の乗車体験や、関西電力が社運をかけて建設した巨大アーチの黒部ダム、立山室堂に現存する日本最古の山小屋(国指定重要文化財)、富山市環境未来都市計画施設及び、とやま都市MIRAI計画施設、富岩水上ライン(国重要文化財「中島閘門」と運河クルーズ)などの視察を目的に、総務部会(部会長 竹腰勇ノ介)と施工管理部会(部会長 向出剛一)合同による現場見学会・研修会を土木委員会構成委員23名(事務局1名含む)の参加により行った。

### 【1日目の主な視察施設】

#### 山岳交通機関乗車体験

##### ・立山ケーブルカー

標高差500m、最大傾斜29度の急斜面を2台の車両がつるべ式に昇降するケーブルカーに乗車。

##### ・立山高原バス

標高差1500mの高原を走る高出力型ハイブリッドバス(ディーゼルエンジンと電動モーターを併用し、黒煙などの排ガスを抑制したバス)に乗車。

##### ・立山トンネルトロリーバス

日本最高所2450mの所を走るトロリーバスに乗車。

##### ・立山ロープウェイ

標高差500mを7分で結ぶ80人乗りのロープウェイに乗車。支柱のないワンスパン方式としては日本一である。

##### ・黒部ケーブルカー

日本にはここにしかない自然景観保護と豪雪による被害防止のため採用された「全線地下式」のケーブルカーに乗車。

##### ・黒部湖遊覧船

黒部湖を周遊する日本で最も高所(平均標高約1450m)を航行する遊覧船に乗船。

##### ・関電トンネルトロリーバス

扇沢駅と黒部ダム駅までの全長6100mを結ぶトロリーバス(二本の架線から電気を得て走る無公害バス)に乗車。

#### 国指定重要文化財「立山室堂」(日本最古の山小屋)

現存する日本最古の山岳宿泊施設で、立山における信仰・民俗の旧態を今に伝える、貴重な建造物を視察。

#### 黒部ダム

周囲を3000m級の山々が連なる立山連峰の中に建設した高さ186mの規模を誇る日本最大級の美しいアーチダム。昭和31年からダム建設を行い、延べ1000万人もの人手を動員、総工費513億円(現在の貨幣価値だと1兆円以上)により7年の歳月を経て完成。この世紀の大事業として現在も語り継がれている黒部ダムを視察。

### 【2日目の主な視察施設】

#### 富山市環境未来都市計画施設(次世代型路面電車)

- ・北陸新幹線開通に伴い、富山市内の交通の回遊性の強化や利便性の促進、コンパクトな街づくりを目指すために開発された次世代型路面電車(日本製LRT車両)に体験乗車。この路面電車はスタイリッシュな外観とバリエーション豊富なカラーで町並みに彩りを添えている。

#### とやま都市MIRAI計画施設(富岩運河環水公園)

- ・21世紀における県都のシンボリックなオアシスとなるよう昭和初期に作られた富岩運河の一部を再生して整備された公園で、公園内には「世界一美しい」とも言われている有名なコーヒー店やレストラン、野外劇場もあり、このにぎわいのある都市公園を視察。

### 国重要文化財「中島閘門」

- ・昭和に造られた土木構造物としては、全国初の国重要文化財に指定された中島閘門は全国的にも珍しく、船に乗ったまま日本最大級の高低差（最大水位差2.5m）を体験することができる「水のエレベータ」と称されるパナマ運河式の閘門を視察。この閘門は最大で200t級の船を通すことが可能である。

### 富岩水上ラインをクルーズ

- ・都心のオアシス「富岩運河環水公園」から国指定重要文化財「中島閘門」がある富岩運河を経て、北前船で栄えた港町「岩瀬」までの運河クルーズを体験。

### 北前船で栄えた岩瀬の廻船問屋群の町並み

- ・江戸後期から明治初期にかけて、西日本の流通・海運を担った北前船の寄港地で多くの廻船問屋が連なる廻船問屋群の町並みを散策。現在は日本海側の「総合拠点港」として発展を続けている。

### 北前船廻船問屋「森家」

- ・明治11年に建てられた国指定重要文化財の廻船問屋「森家」を見学。どっしりとした重厚な建物の構造から富と文化をもたらした財力の象徴が感じられる。

今回の研修会を通して、日頃経験することのない山岳交通機関の乗車体験やLRTなどの次世代型公共交通を核としたコンパクトなまちづくり、にぎわいと品格のある新しい都市拠点形成や、歴史的遺構など多岐にわたり学ぶことができ、また、会員相互の親睦も深まり、楽しく、実りのある大変充実した2日間であった。



写真 黒部ケーブルカー



写真 黒部ダム



写真 黒部ダムにて



写真 富岩運河環水公園

## 建築委員会

### 能登地域合同建築委員会の開催

建築委員会（委員長 橋本和雄）は、9月5日（火）に、（一社）鳳輪建設業協会にて、能登地域合同建築委員会を開催した。県土木部の松田洋一郎技監、畝本秀一参事及び三谷浩二郎建築住宅課参事、岡本 悟営繕課担当課長を迎えて、能登地区の各建設業協会の建築部会員（23名）と県建設業協会の建築委員会役員（11名）の計38名による、意見交換会となった。



県協会の橋本委員長・県の松田技監・鳳輪協会の宮下正人建築部会長の挨拶の後、県より、今年度の建築住宅行政・営繕工事等について説明を受け、建築基準法・建築士法の改正、耐震改修工事の補助制度、H29年度の主な営繕工事、営繕工事における注意点等が明らかにされた。

引き続き、各地区協会より県発注者に対し、次の様な議題を提案した。

1. 建築に係る職人不足について
2. 高齢化並びに人手不足に係る適正な工期設定について
3. 産廃処分費の具体的な根拠について
4. 産廃処分費の適正な数量での最終清算について
5. 入札時に積算数量書に疑義があった場合の対応について
6. 優良工事の評価範囲の拡大について
7. 担当技術者個人並びに下請け優良企業の表彰制度採用について
8. 企業年金への加入業者に対する評価対象拡大について
9. 「入札時積算数量書活用方式」の導入について
10. ワンデーレスポンスへの取り組みについて

これらの提案・要望に、県担当者よりそれぞれ詳細な回答を頂き、和やかに意見交換を終え、岡 昌弘副委員長の挨拶で閉会となった。

### 環境・住宅部会研修会の開催

環境・住宅部会（部会長 水内健之）は、9月28日（木）に「CLT（直交集成板）工法」の視察研修を部会員3名と建築委員12名の計15名の参加で開催しました。



午前中に訪れた「奥卯辰山建民公園管理センター整備工事」の現場では県営繕課の主任技師安井 彩氏より工事概要の説明を、構造設計を担当した小西構造設計の宮前貴尋氏よりCLTパネル工法の概要説明を受けたのち、現場見学を行った。同工法は昨年3月及び4月の告示により大臣認定を受けずに確認申請が直接可能となった新しい工法であるため、確認申請担当部局も不慣れであり設計に当たっては、CLT協会の設計支援が必須であること、平面計画や立面計画で大きな制約があること、構造パネルに開口部を設けることができないため設備配管の配置などに事前の打ち合わせが大事なことなどの説明を受けた。参加者からも材料費や施工面での留意事項など盛んに質問が飛んでいた。

午後から訪れた（株）中東の岩内工場では社長の小坂勇治氏よりCLT工法の歴史や実績、施工事例の説明を受けたのち工場見学を行った。高周波プレス機により1枚のパネルが30分で接着・乾燥させることができること、パネルは最大厚さ270mm×幅1,250mm×長さ6,200mmまで生産可能なことなどの説明を受けた。木質パネル工法で断熱性、防火性に優れた最新技術を知ることができ有意義な視察研修会となった。

## 広報・研修委員会

### 委員会の開催

広報・研修委員会（委員長 高田直人）は9月22日（金）午前11時から石川県建設総合センター会議室において開催された。

委員会の冒頭高田委員長が挨拶を行い、次の通り議題審議及び報告が行われた。

1. 協会報10月号について

事務局説明の協会報10月号の編集計画が了承された。

2. 平成28年度1級土木施工管理技術検定試験（実地）受験準備講習会の開催結果について

本年度は18名の参加を得て9月中3回にわたり実施された。講習会参加者のアンケート調査では講習会が高い評価をいただいたことが報告された。

3. その他

委員会の研修旅行について

熊本城復旧状況を視察する委員会の研修旅行を来年2月実施することとし参加者の募集を図ってゆくこととした。

若年建設労働者の離職防止対策について

委員からの発言で、入職間もない若年建設労働者の離職が問題となっていることに対し協会全体の問題として本委員会で取組むべきという意見があり、年内に委員会を開催し対策を協議することが取り決められた。



## 建設青年委員会

### 職業体験イベント「お店屋さん 職人さんになろう！」建設ブースの設置

建設青年委員会（委員長 北川隆明）は9月3日（日）、金沢市三和児童館主催の職業体験イベント「お店屋さん 職人さんになろう！」に建設ブースを設け、子供たちにミニ建機でのスーパーボールすくいやドローン操作を体験してもらった。

ほとんどの子供たちがミニ建機・ドローンの操作は初めての体験で、最初はぎこちなかったものの次第になれば、最後の方は思い通りに操作出来るようになっていった。

今回のイベントでは、子供たちに機械操作を通して、建設業に触れてもらういい機会になった。



## 暴力団等対策特別委員会

### 委員会の開催

暴力団等対策特別委員会（委員長代理 小倉 淳）は、本年度の第1回目の委員会を9月5日（火）午前10時30分から石川県建設総合センター役員室において開催した。

会は冒頭小倉委員長代理が「前委員長である小野征男氏（真柄建設社長）が会社を退職したことにより、残りの在任期間委員長職をつとめることとなった。」旨の挨拶を行い、続いて来賓の石川県警察本部組織犯罪対策課表 豊課長補佐から挨拶と「最近の暴力団情勢」についての説明をいただいた。

委員会はその後講演に移り、石川県警察本部公安課笹木克久補佐より「右翼情勢」と題しパワーポイントを用いた講演をいただき、講習後は講師及び県警察本部暴力担当者等を交えた、暴力団情勢や右翼団体等の犯罪等に関する質疑や意見交換会が活発行われ委員会を終了した。



## 建設技術研修所

### ・「1級土木施工管理技術検定試験（実地）受験準備講習」の開催結果

1級土木施工管理技術検定試験（実地）受験準備講習を下記日程のとおり、石川県建設総合センターにて開催した。受講者は18名。アンケートの結果では「細かく説明して下さりよく理解できた。」「記述問題の解答を個別にみてもらえて良かった。」などと、高評価をいただき大変有意義な講習となった。なお、この講習は「建設労働者確保育成助成金」対象講習でした。



1級土木施工管理技術検定試験(実地)受験準備講習 日程

日	時	講習科目	講師	勤務先
9月5日(火)	9:30~12:30	コンクリート	清水 芳典	技術士、コンクリート診断士
	13:30~16:30	土工	清水 芳典	技術士、コンクリート診断士
9月12日(火)	9:30~12:30	施工計画 建設副産物対策	清水 芳典	技術士、コンクリート診断士
	13:30~16:30	品質管理	中野 哲朗	技術士、コンクリート診断士
9月19日(火)	9:30~12:30	工程管理 実務経験	森 光明	森技術士・ 安全コンサルタント事務所
	13:30~16:30	安全管理	森 光明	森技術士・ 安全コンサルタント事務所



# 石川県土木施工管理技士会だより

## JCM 特別セミナーの開催

石川県土木施工管理技士会(会長 江口介一)は、9月13日(水)石川県建設総合センター第一研修室においてJCM 特別セミナーを開催した。

この講習会はグループ形式にて、原価低減実践をテーマにハタコンサルタント株式会社代表取締役の降旗達生講師によって行われた。受講することにより、CPDSが7ユニット付与される。

今回は16名の参加であったが、グループにて様々な課題に取り組まなければならず、出席者は熱心に議論し課題に取り組んでいた。



石川県 最低賃金が改定されました。

平成29年  
10月1日から

〈時間額〉

781円

24円  
UP

雇う上でも、働く上でも、最低限のルール。使用者も、労働者も、必ず確認、最低賃金。

使用者も、労働者も、

必ず確認、最低賃金。

スマホ、携帯で自分の地域の最低賃金を確認しよう！



最低賃金に関する特設サイト  
<http://www.saitechingin.info/>  
WEBで確認！



最低賃金に関するお問い合わせは石川労働局または最寄りの労働基準監督署へ  
石川労働局ホームページアドレス  
<http://ishikawa-roudoukyoku.jsite.mhlw.go.jp/>



### 石川労働局からのお知らせ

#### 事業主の皆様、無期転換の準備、進めていますか？

有期契約(1年更新など)であっても、契約が5年を超えて反復更新された場合には、働く側の希望により、期限の定めない契約に転換するルール(無期転換ルール)が定められています。

このルールは、来年4月以降、本格的に運用されます。有期契約の従業員を雇用する事業主の皆様におかれては、無期への転換申請が行われた場合に備え、準備が必要です。

詳細は、厚生労働省の「有期契約労働者の無期転換ポータルサイト(<http://muki.mhlw.go.jp>)」(「無期転換サイト」と検索)をご覧ください。ハンドブックなどもダウンロードできますので是非、ご活用ください。又は、石川労働局までお問い合わせください。

# 業界時報

## 労働災害発生状況 ～建設業労働災害防止協会～

署別・業種別件数（平成29年分）

平成29年8月末 速報

業種別 署別	土木工事	建築工事	設備工事	計	前年同期	全産業
金沢監督署	7	(5)27	11	(5)45	28	394
小松監督署	3	(3)9	2	(3)14	18	133
七尾監督署	2	(3)5	8	(3)15	17	93
穴水監督署	3	(4)7	0	(4)10	5	47
計	15	(15)48	21	(15)84	68	667
前年同期	13	(17)45	10	(17)68	68	587

( )内は木建工事 内は死亡者数

## 平成29年度 建設工事受注高調（元請）

民間

（単位100万円）

	土 木			建 築			計		
	29年度	28年度	%	29年度	28年度	%	29年度	28年度	%
6月分	373	717	52.0%	4,027	1,237	325.5%	4,400	1,954	225.2%
7月分	618	784	78.8%	2,035	1,748	116.4%	2,653	2,532	104.8%
8月分	363	352	103.1%	2,860	3,390	84.4%	3,223	3,742	86.1%
年度累計	2,508	2,332	107.5%	15,339	9,610	159.6%	17,847	11,942	149.4%
27年度累計		1,535	163.4%		16,388	93.6%		17,923	99.6%
26年度累計		2,030	123.5%		10,635	144.2%		12,665	140.9%

官公庁

	土 木			建 築			計		
	29年度	28年度	%	29年度	28年度	%	29年度	28年度	%
6月分	2,326	4,129	56.3%	1,587	4,427	35.8%	3,913	8,556	45.7%
7月分	5,128	5,033	101.9%	1,244	2,468	50.4%	6,372	7,501	84.9%
8月分	3,531	4,386	80.5%	1,481	1,294	114.5%	5,012	5,680	88.2%
年度累計	13,395	18,729	71.5%	5,386	8,494	63.4%	18,781	27,223	69.0%
27年度累計		18,891	70.9%		5,035	107.0%		23,926	78.5%
26年度累計		22,385	59.8%		9,582	56.2%		31,967	58.8%

合 計（民間+官公庁）

	29年度	28年度	%		29年度	28年度	%
6月分	8,313	10,510	79.1%	年度累計	36,628	39,165	93.5%
7月分	9,025	10,033	90.0%	27年度累計		41,849	87.5%
8月分	8,235	9,422	87.4%	26年度累計		44,632	82.1%

## 会員消息

今回届け出があったのは次の1件でした。

変更

会社名	変更前	変更後	変更年月日
	代表者	代表者	
盛進工業(株)	荒木 龍平	坂井 繁	平成29年9月1日

なお、変更があった時点で届出頂くようお願い致します。

## 県協会からのお知らせ

### 平成29年10月行事予定

- 10月 2日(月) 建設業福祉共済団企業訪問(～5日)(県内各地)事務局打合せ  
2級土木施工管理技術検定試験(学科・実地)受験準備講習(～3日)(珠洲建設業協会)
- 3日(火) 経済調査会来館  
足立先生との懇談会(ホテル日航金沢)
- 4日(水) 2級土木施工管理技術検定試験(学科・実地)受験準備講習
- 5日(木) 家畜伝染病防疫訓練  
(輪島市 空港交流センター)  
災害時の緊急対策シミュレーション意見交換会  
(金沢河川国道事務所)
- 6日(金) 登録解体工事講習  
土木委員会工事点検パトロール班長会議(前期)
- 9日(月) はだしの王国(奥卯辰山健民公園)
- 11日(水) 2級土木施工管理技術検定試験(学科・実地)受験準備講習  
講習会(～12日:10日準備)  
(河北郡市土建協同組合)  
建設業福祉共済団加入促進説明会  
(鳳輪建設業協会)
- 13日(金) 土地改良委員会 技術検討部会  
第36回コンクリート耐久性向上委員会  
(生コン会館2F)
- 15日(日) 和田内県議出版記念パーティー(ホテル金沢)
- 16日(月) 3級建設業経理事務士特別研修(～18日)  
石川県技士会現場見学会(小松市・能美市)
- 17日(火) 北陸地域懇談会(富山 ホテルグランテラス富山)
- 19日(木) 会報編集委員会
- 20日(金) 2級土木施工管理技術検定試験(学科・実地)受験準備講習
- 21日(土) 情報共有システム講習会
- 24日(火) 広報・研修委員会 企画部会
- 26日(木) 建山先生講演会  
(ANAクラウンプラザホテル新潟)
- 30日(月) 事務局打合せ  
北陸建設青年会議(上越市)

- 9日(木) 市町要望(～10日)(能登地区)  
土木委員会工事点検パトロール(予定)  
(加賀地区～奥能登地区)
- 10日(金) 土木委員会工事点検パトロール予備日(予定)  
(加賀地区～奥能登地区)
- 13日(月) 国土交通省との意見交換会(石川県庁1406)
- 14日(火) 石川県産業教育振興会 研究協議会  
(石川県地場産業振興センター)
- 17日(金) 地区協会合同研修会(七尾市)
- 20日(月) 東日本建設業保証 役員・参与懇談会  
(東京 パレスホテル東京)  
石川県交通安全県民大会  
(石川県地場産業振興センター)
- 22日(水) 建設業法令遵守に関する講習会  
(石川県地場産業振興センター)
- 24日(金) 全建 理事会・会長会議(東京 経団連会館)
- 28日(火) 建設技術報告会  
(新潟 朱鷺メッセ 新潟コンベンションセンター)  
石川県建築士事務所協会 創立40周年記念式典  
(ホテル日航金沢)
- 29日(水) 北陸地方整備局との意見交換会  
(ホテル日航金沢)
- 30日(木) 建築委員会 北陸地方整備局営繕部建築工事意見交換会  
(ホテル日航金沢)
- 12月 4日(月) 正副会長会議
- 12日(火) 石川県景観審議会現地調査(県内)
- 13日(水) 全国技士会 事務局長会議(東京 東京国際フォーラム)
- 14日(木) 全建 理事会・地域懇談会意見交換会等  
(東京 経団連会館)

平成30年

- 1月19日(金) 協会・組合 新年会(ホテル日航金沢)
- 2月16日(金) 全建 理事会・施設見学会(東京 鉄鋼会館)

### 「協会報」への随筆等投稿(お願い)

- 随筆文字数 400字詰め原稿用紙3枚(1,200字以上)
- 投稿の期日 毎月25日頃(翌月号の編集締切り)
- 協会報の発行 毎月1日発行  
(毎月10日前後納入、会員送付)
- 謝礼 投稿頂いた記事について薄謝(図書券)贈呈

(注) お問い合わせは、  
(一社)石川県建設業協会事務局広報担当  
TEL 076-242-1161(代)内線40番

### 平成29年11月以降の行事予定

- 11月 1日(水) 全国建設労働問題連絡協議会(東京 鉄鋼会館)  
「けんせつフェア北陸 in 新潟2017」(～2日)  
(新潟 新潟市産業振興センター)  
「2017建設リサイクル技術発表会・技術展示会」  
(～2日)(新潟 新潟市産業振興センター)
- 6日(月) 正副会長会議(KKRホテル金沢)  
保証事業石川協議会定例会(KKRホテル金沢)

## 地区協会からのお知らせ

### (一社)金沢建設業協会

#### 《行事予定》

- 10月 2日(月) 金沢マラソンボランティア説明会  
 3日(火) 建築：役員会  
 4日(水) 青年：幹事会  
 10日(火) 土木：環境情報委員会安全パトロール  
 11日(水) 青年：情報発信セクション  
 土木：箱根町建設業協会との除雪契約に関する意見交換会  
 17日(火) 土木：舗装委員会安全パトロール  
 18日(水) 土木：施工管理委員会安全パトロール  
 19日(木) ポウリング委員会  
 土木：安全委員会安全パトロール  
 23日(月) 建築：視察研修  
 24日(火) 青年：技術研究セクション  
 25日(水) 土木：実務担当者との意見交換会  
 28日(土) 森づくり実践活動  
 29日(日) 金沢マラソンボランティア

### (一社)加賀建設業協会

#### 《行事予定》

- 10月17日(火) 小松工業高等学校 インターンシップ(～19日)  
 18日(水) 監理技術者講習  
 20日(金) 建友グリーン会  
 25日(水) 建災防加賀分会 安全パトロール

#### 《お知らせ》

- 10月15日(日) 第3回 越前・加賀県境綱引き大会

### (一社)小松能美建設業協会

#### 《行事予定》

- 10月下旬 道路アドプト活動

### (一社)白山野々市建設業協会

#### 《行事予定》

- 10月 4日(水) 地元選出県会議員との意見交換会  
 5日(木) 建築工事安全パトロール  
 24日(火) 理事会  
 暴力団等排除推進会議研修会  
 25日(水) 白山市議との意見交換会  
 27日(金) 白山市建築設計監理協会との意見交換会  
 31日(火) 石川土木若手との勉強会

### 河北郡市土建協同組合

#### 《行事予定》

- 10月11日(水) 金沢田鶴浜線橋梁補修工事現場見学  
 「BCPを意識したクラウド環境での建設業の仕組み」講習会(～12日)  
 13日(金) 監理技術者講習会

### (一社)羽咋郡市建設業協会

#### 《行事予定》

- 10月 5日(木) 第14回「小学生の見た建設の絵」審査会  
 19日(木) 監理技術者講習会  
 24日(火) 農林工事安全パトロール  
 28日(土) 建設機械試乗会(こすもす保育園)  
 31日(火) 理事会

#### 《お知らせ》

- 10月11日(水) 第14回「小学生の見た建設の絵」管内4会場(志賀町、羽咋市、宝達志水町2箇所)において、入選作品の移動展示会を開催(～11月15日(予定))

### (一社)七尾鹿島建設業協会

#### 《行事予定》

- 10月中旬 理事会  
 26日(木) 土木委員会研修視察(～28日)

#### 《お知らせ》

- 12月14日(木) 監理技術者講習会

### (一社)鳳輪建設業協会

#### 《行事予定》

- 10月10日(火) 奥能登農林総合事務所と奥能登土木委員会との意見交換会  
 11日(水) 正副会長会議・理事会  
 12日(木) 監理技術者講習会  
 16日(月) 安全管理講習会

### (一社)珠洲建設業協会

#### 《行事予定》

- 10月 2日(月) 石川県立能登産業技術専門校入校式  
 2級土木施工管理技士受験準備講習会(～3日)  
 10日(火) 理事会  
 奥能登農林総合事務所と奥能登土木委員会との意見交換会

## 関係機関からのお知らせ

### 【石川県版・参加無料】平成29年度女性活躍を進めるための説明会 ～あなたの会社の未来のために、女性活躍推進の取り組みを始めてみませんか～

女性活躍推進センター東京事務所・(一財)女性労働協会

厚生労働省では中小企業における女性活躍を推進することを目的として、平成28年4月1日施行の女性活躍推進法に基づく一般事業主行動計画の策定・届出や、「えるぼし」認定取得に向けた、中小企業の取り組みを支援しています。

日時 平成29年11月6日(月) 14:30～16:30

会場 金沢商工会議所会館 2階 研修室2 (定員50名)

参加対象 従業員数300人以下の中小企業経営者・人事労務担当者 (参加費無料)

内容 第1部 講師による説明会 14:30～15:30

第2部 個別相談会 15:30～16:30

申し込み 申込書によりFAX03 6809 4472間で送信ください。(下記ホームページからも申し込みいただけます。)

問合わせ 女性活躍推進センター東京事務所・一般財団法人女性労働協会

TEL 03 3456 4412 FAX 03 6809 4472 URL <http://www.josei-suishin.com/>

### 働き方改革に向けた研修会の開催 ～自社の「働き方改革」をすすめてみませんか～

石川労働局

この研修では厚生労働省の「働き方・休み方改善指標」を使用し、自社の現状分析を行い、改善指針を考察します。自社の働き方改革を実現したいとお考えの事業主の方、労務管理担当者の方、是非ご参加ください。

日時場所 平成29年10月24日(火) 13:15～16:45 (所要時間3時間半程度)

石川労働局 共用第1会議室 (金沢市西念3 4 1 金沢駅西合同庁舎6階)

対象 事業主、労務管理ご担当者など

受講費 無料

内容 説明・「働き方改革」をめぐる法改正の動向等について

説明・「よるず支援拠点」等について

演習・「働き方・休み方改善指標」を用いた自社の現状分析(グループワーク)課題解決に向けて

説明・働き方・休み方改善の事例紹介、各種助成金のご案内 など

申込方法・お問合せ

石川労働局雇用環境・均等室 TEL 076 265 4429 FAX076 221 3087

担当【柚木、吉野、坂本】

## 不慮の災害事故発生にそなえて

全建協連総合補償制度  
自動車保険

お問い合わせは・・・



石川県総合建設業協同組合

損害保険ジャパン日本興亜株式会社

損保ジャパン日本興亜保険サービス株式会社

TEL 076 - 231 - 7787

FAX 076 - 231 - 7766

〒920 - 0919 金沢市南町5 - 20

中屋三井ビル2F